

杉並区立天沼中学校 改築基本設計 まとめ(案)

天沼中学校の校舎は、昭和35年の建設後、増築を重ねてきましたが、最も古い校舎で築65年が経過し、老朽化による改築時期を迎えています。そのため、令和3年度に策定された区の実行計画に基づき、改築を行うこととなりました。また、同計画の令和6年度一部修正により、新たにさざんかステップアップ教室「天沼教室」および「荻窪教室」を併設することとしました。

これを受けて、令和7年4月から学校関係者、地域関係者、学識経験者等で構成する「天沼中学校校舎改築検討懇談会」を開催し、改築基本方針や新校舎の配置計画、平面計画等を含む改築基本設計の策定に向けて取り組んできました。この度、これまでの検討状況を踏まえ、改築基本設計の取りまとめを行いました。

令和8年 月 杉並区教育委員会

目次

【1】基礎的条件	
(1)改築に至る経緯	3
(2)計画地の概要	
①周辺環境(道路・敷地)	4
②用途地域・地区等	5
③既存施設の概要	6
④既存施設の日影	7
⑤建築可能範囲	8
【2】計画条件	
(1)生徒数・学級数の推移と将来推計	9
(2)中学校の標準建物面積について	10
【3】改築基本方針	11
【4】施設整備計画	
(1)校舎配置(案)の検討①	
校舎配置(案)の検討②	12
(2)オープンハウスの開催	13
(3)天沼中学校生徒アンケート	14
(4)校舎配置(案)の方針について	15
(5)平面計画	16
①配置図	
②各階平面図(1～2階)	17
②各階平面図(3～4階)	18
(6)日影図	19
(7)想定整備スケジュール(予定)	20
(8)工事ステップ図(予定)	21
【5】検討経過	22
(1)校舎改築検討懇談会での検討経過等	23
【6】今後の検討課題等	24

【1】基礎的条件 (1)改築に至る経緯

天沼中学校の主な状況

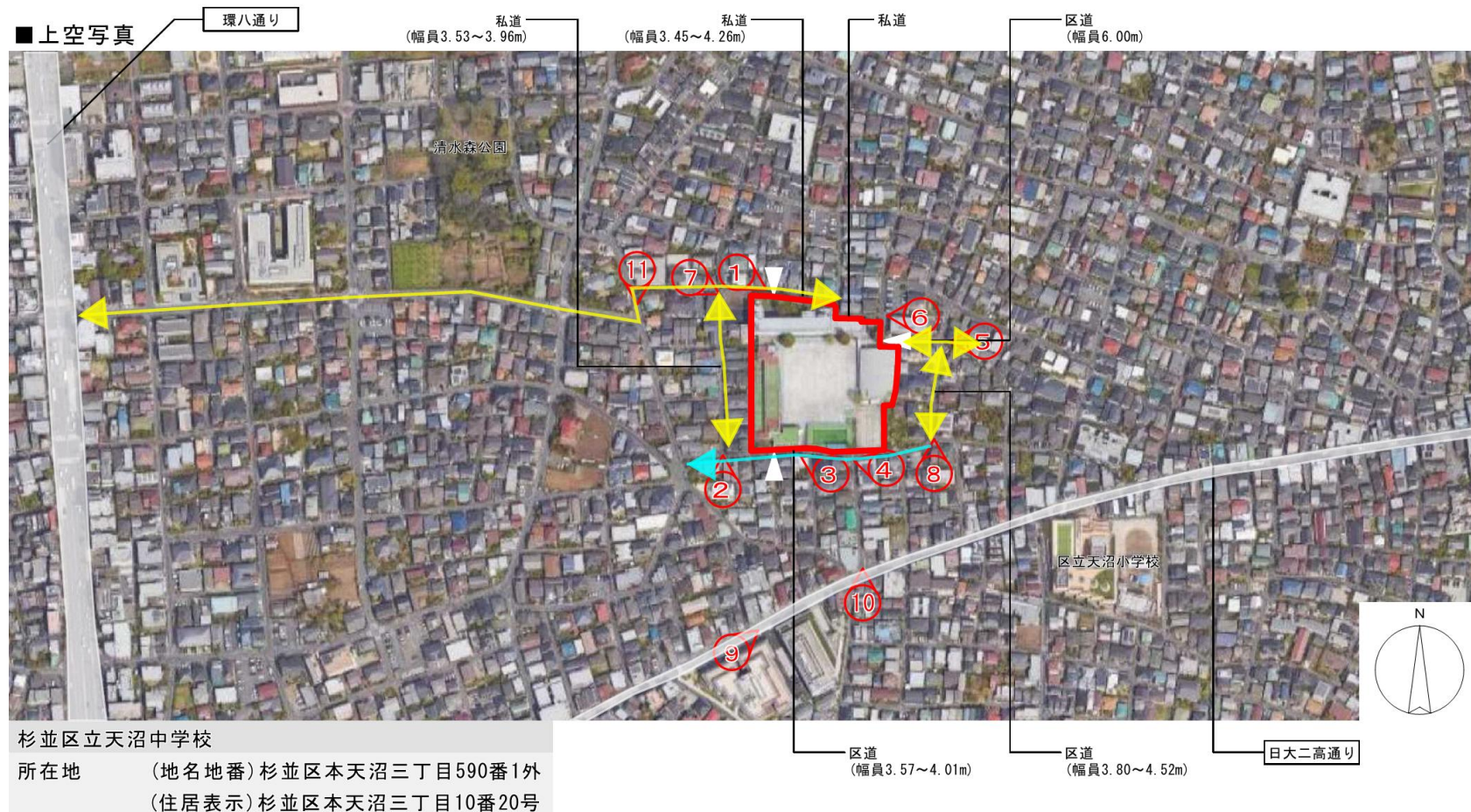
昭和22年	開校(杉並第五小学校内に併設)
昭和23年	現在の校地に移る
昭和35年	現校舎(管理教室棟の一番古い棟)建設
昭和37年	体育館建設
昭和49年	特別教室棟建設

改築計画の具体化

令和3年度	杉並区実行計画により改築事業の計画化
令和6年度	杉並区総合計画・実行計画の一部修正で、 さざんかステップアップ教室「天沼教室」と 「荻窪教室」の併設を計画化
令和7年度	「天沼中学校改築検討懇談会」設置、基本設計策定

【1】基礎的条件 (2) 計画地の概要 ① 周辺環境(道路・敷地)

■ 周辺環境(道路・敷地)




- ① : 撮影位置
- ◀ : 出入口
- ↔ : 対面通行
- : 一方通行

【1】基礎的条件 (2)計画地の概要 ②用途地域・地区等

■都市計画図



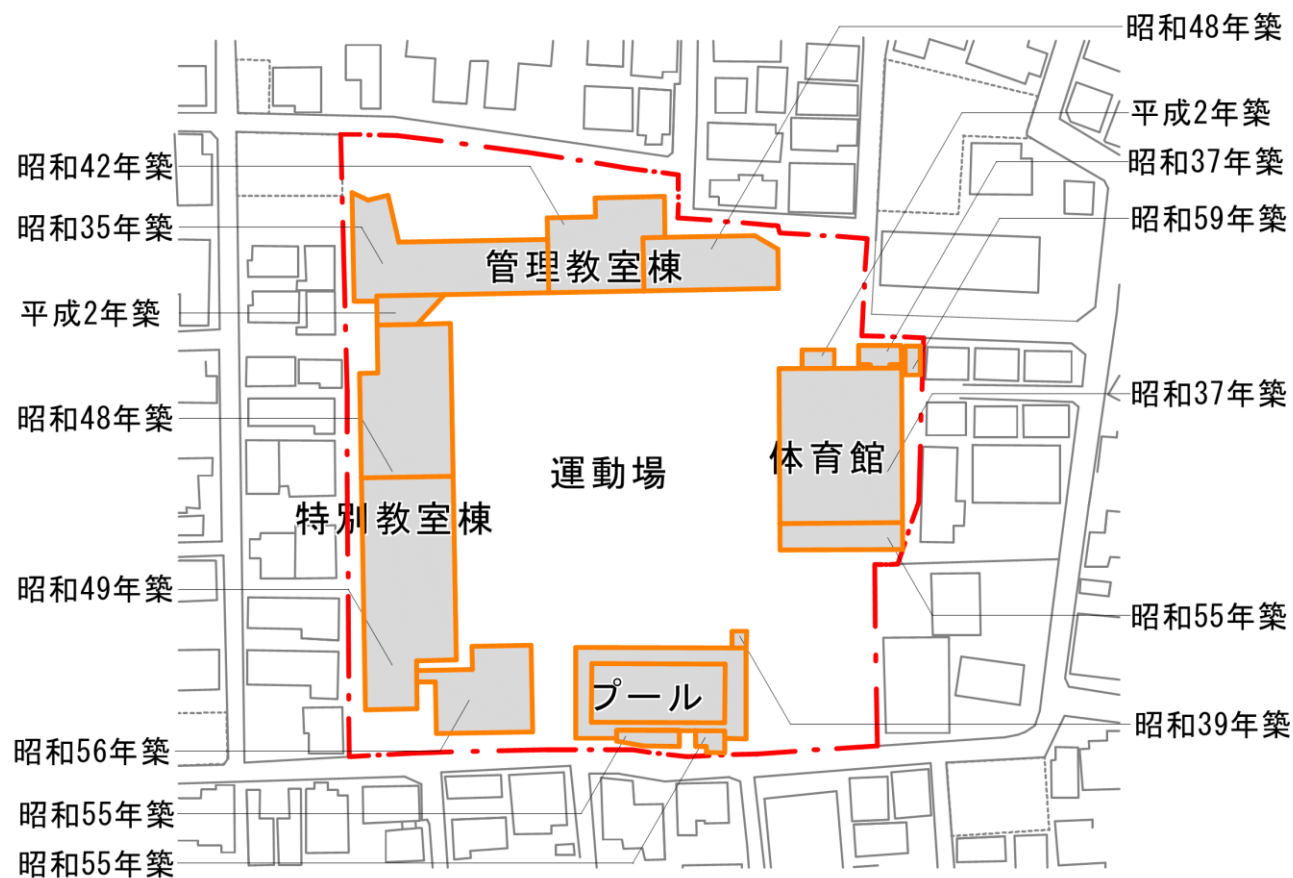
 第一種低層住居
専用地域

 敷地範囲

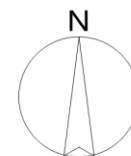
■用途規制等

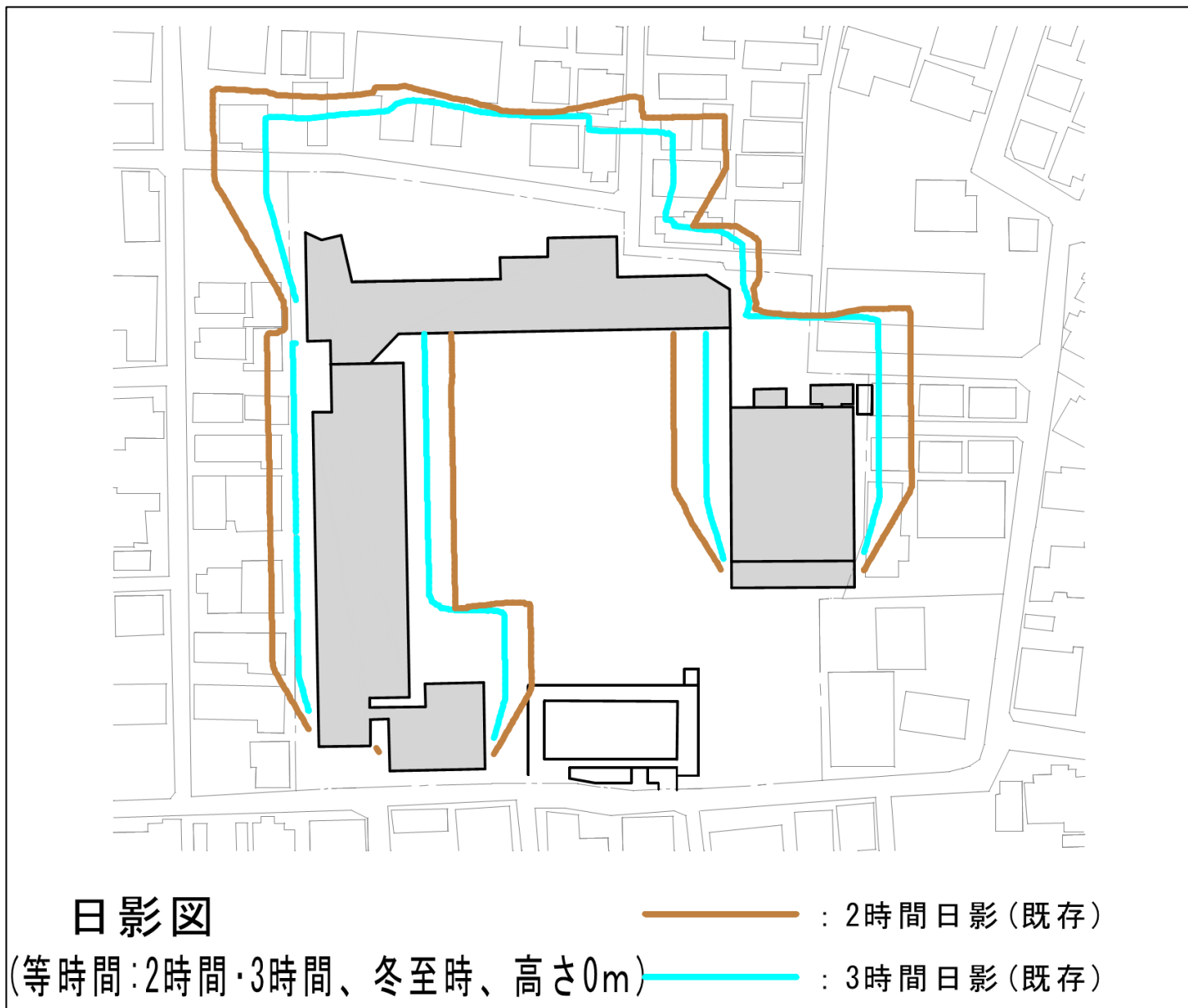
用途地域	第一種低層住居専用地域
指定建蔽率	50%
指定容積率	100%
防火地域	準防火地域
高さ制限	10m
高度地区	第一種高度地区
日影規制	3h-2h/1.5m
備考	建蔽率は角地緩和+10%あり 敷地面積の最低限度:70㎡

【1】基礎的条件 (2) 計画地の概要 ③ 既存施設の概要

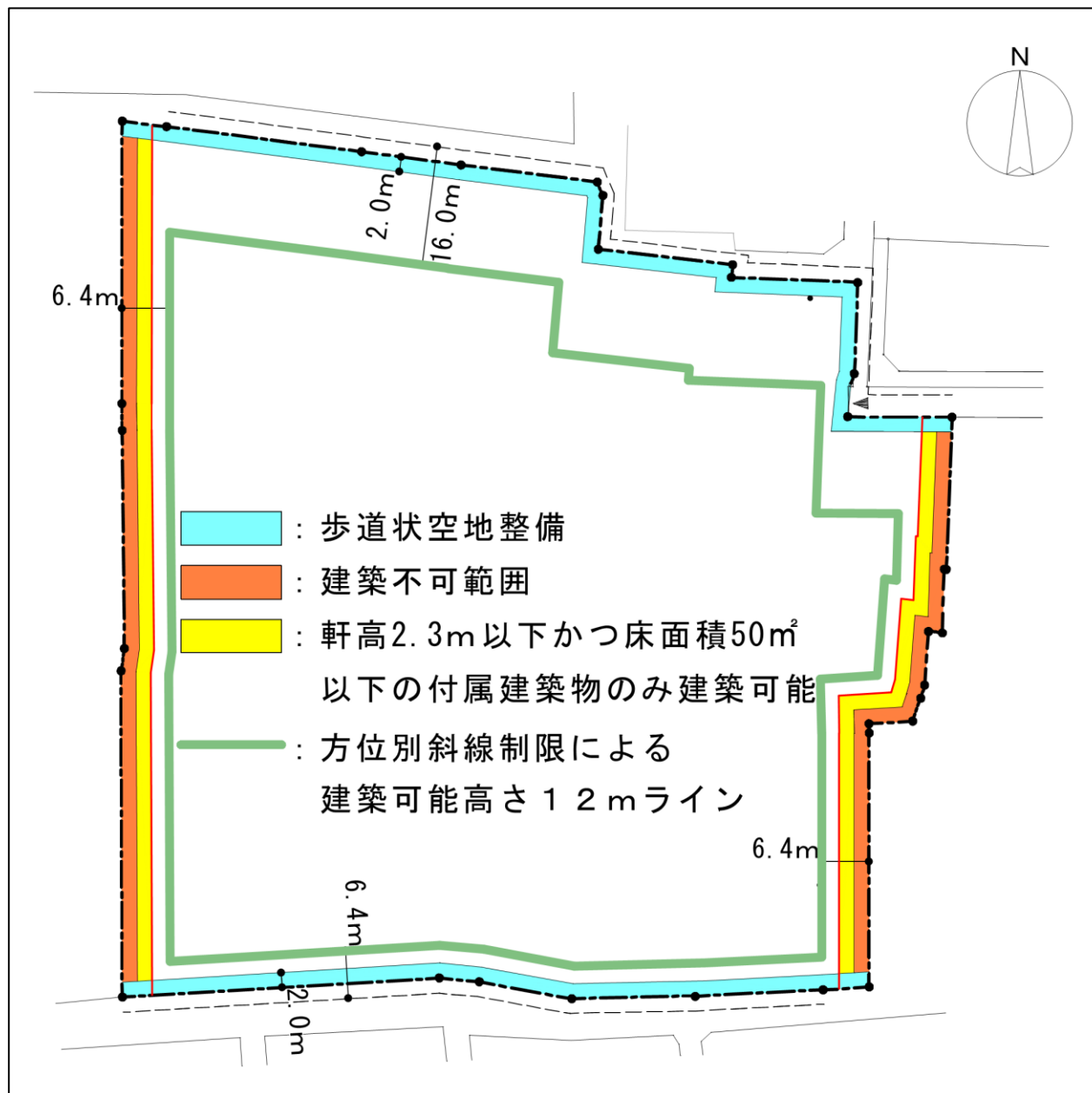


敷地面積	11,601 m ²
校舎面積	5,712 m ²
体育館面積	834 m ²
運動場面積	約4,000 m ²





【1】基礎的条件 (2)計画地の概要 ⑤建築可能範囲



【2】計画条件 (1) 生徒数・学級数の推移と将来推計

表1 天沼中学校 生徒数・学級数(予測)

	1年		2年		3年		合計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
令和7年度	93	3	84	3	102	3	279	9
令和8年度	94	3	103	3	85	3	282	9
令和9年度	110	4	94	3	103	3	307	10
令和10年度	104	3	110	4	94	3	308	10
令和11年度	88	3	104	3	110	4	302	10
令和12年度	89	3	82	3	108	4	279	10
令和13年度	94	3	89	3	82	3	265	9
令和14年度	100	3	97	3	92	3	289	9
令和15年度	104	3	102	3	99	3	305	9(10)
令和16年度	86	3	106	4	104	3	296	10(11)

※令和7年3月の10年推計より(令和7年度は実数)

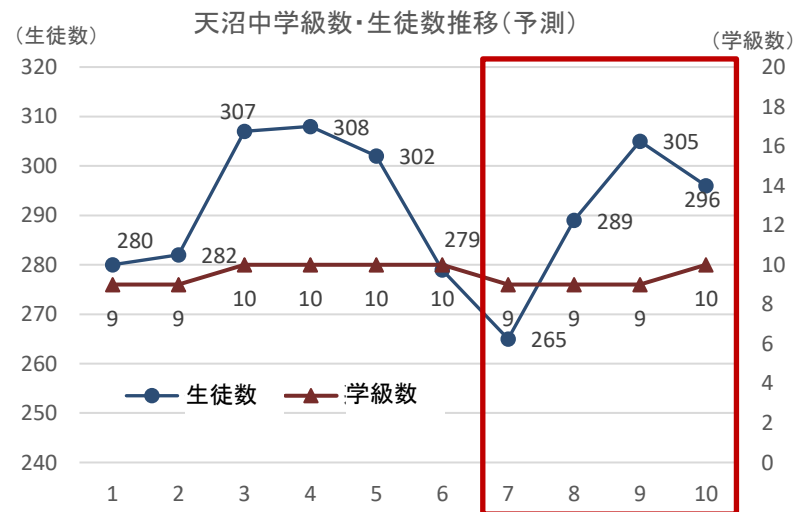
- 天沼中学校の生徒数は令和10年度にピークを迎え、その後、変動はあるものの一定数を維持する見込み。
- 中学校1クラス35人編成として学級数を算定した場合、竣工後の令和15年～16年は2～3名程度の増により学級数が1クラス増える可能性がある。この場合、令和16年度には10～11学級となる。

表2 【参考】学級編成基準

学級数	生徒数
1学級	1～35
2学級	36～70
3学級	71～105
4学級	106～140

※中学校35人学級の導入を想定し算定

図1 天沼中学校 生徒数・学級数



● 普通教室12学級規模で改築

※それ以上になった場合でも、普通教室に転用可能な英語教室等を整備する。

【2】計画条件 (2) 中学校の標準建物面積について

■ 標準建物面積

※中学校12学級を想定した場合

～『杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画)』(令和3年3月) P19 より～

用途分類		中学校 (12学級規模)
校舎	普通教室	864m ²
	特別教室・準備室	1,706m ²
	管理諸室等	3,149m ²
	プール付属施設	100m ²
	特別支援教室	72m ²
屋内運動場・付属諸室		1,006m ²
その他	給食調理諸室	286m ²
	学校開放諸室	181m ²
	屋外倉庫等	136m ²
総計		7,500m ²

※プールは屋外プールを想定しており、床面積に算入していない

【3】改築基本方針

<ビジョン>

<目標>

<取組>

【ビジョン1】
時代の変化に対応して、
生徒が学びの充実を実
感できる学校

目標Ⅰ
多様な教育に対応し、学校の
活発な教育活動を支える学
校づくり

目標Ⅱ
地域の公共財として将来にわ
たって使い続けられる柔軟性
のある学校づくり

目標Ⅲ
教職員や支援者が活動しや
すい学校づくり

【ビジョン2】
環境に優しく、安全で快
適に過ごせる学校

目標Ⅳ
自然環境に配慮し、周辺環
境と調和した学校づくり

目標Ⅴ
安全・安心で居心地の良い
生活空間としての学校づくり

【ビジョン3】
地域の活動拠点として、
地域に開かれ、地域とと
もに歩む学校

目標Ⅵ
天沼地域の住民と共に創る
「学びのプラットフォーム」と
しての学校施設の整備

目標Ⅶ
天沼地域の貴重かつ重要な
防災拠点として必要な機能
を備えた施設

取組A 学年単位から少人数、個人など様々な人数での多様な教育に対応できる学習環境の整備

取組B 生徒の学習意欲を支えるICT教育環境や校内情報ネットワーク、ラーニングセンター（図書室）機能の充実

取組C 学校行事や部活動などが一層活発に行えるよう校庭面積を確保するとともに適切な素材を使用した校庭環境の整備

取組D 改築工事期間中の教育活動に配慮した計画

取組E 多目的室等を配置するなど、今後の新たな教育内容や教育方法、将来の学級数の変化に弾力的に対応できる施設

取組F 長期的な施設利用を想定し、施設の維持管理が容易で、地域ニーズの変化に柔軟に対応し、ユニバーサルデザインに配慮した将来の転用も可能な、魅力を維持・発展できる校舎

取組G 授業や生徒指導、また授業準備や教材研究など、教職員の働きやすさに配慮した施設計画

取組H PTAや学校支援本部などによる学校を支える活動に配慮した施設計画

取組I 環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入により持続可能で自然環境にやさしい施設計画

取組J 閑静な住宅地である天沼地域の周辺環境と調和した学校

取組K 現在の校舎の廊下にあるベンチや昇降口にあるサロンなどのような、生徒が安心して友人や教職員等と交流でき、自由にリラックスして過ごせる空間の創造

取組L 児童生徒が安心して自分なりに過ごせる場、保護者が安心して通わせることができる場としての「さざんかステップアップ教室」の整備

取組M 不審者の侵入防止等に必要なセキュリティ対策を施し、すべての利用者が安全で快適に過ごせる配置計画

取組N 生徒や卒業生、地域住民等の学びのニーズに応え、生涯にわたり、学び合い、教え合いがまれ、学びを深めることができる施設計画

取組O 学校と多くの地域住民がつながり、地域の活動拠点として、多様な交流、体験・学習活動ができる施設計画


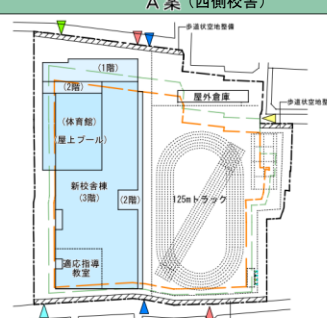
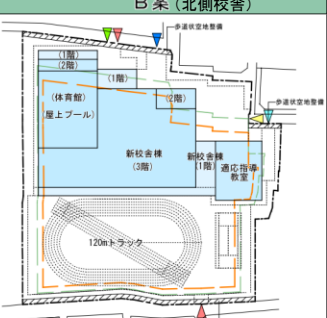
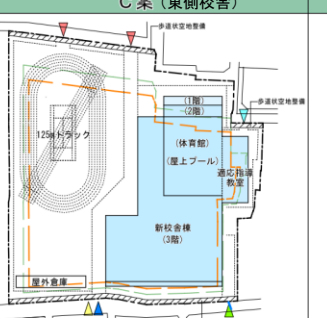
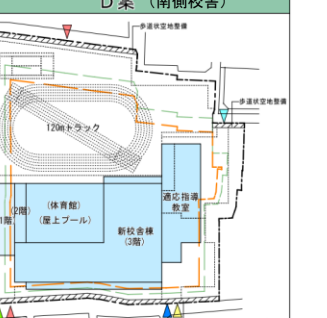
取組P 生徒や教職員が安心して学校教育活動ができるよう、学校開放の利用者の動線を区分けし、適切なセキュリティを確保した施設計画

取組Q 天沼地域の防災拠点として、緊急車両等の進入経路を確保し、震災救援所等の活動を支える施設

取組R 天沼地域の防災拠点として、震災救援所の運営に必要な水や電気等のエネルギーが確保できる施設

【4】施設整備計画(1)校舎配置(案)の検討①

校舎の位置を東西南北に配置した4案を、校舎環境、校庭環境、周辺環境、工事計画等の観点から比較した資料を基に意見交換を行いました。

既存		A案(西側校舎)	B案(北側校舎)	C案(東側校舎)	D案(南側校舎)
 <p>延べ面積: 約6,600㎡ 校庭面積: 約4,000㎡</p>		 <p>延べ面積: 約8,650㎡ 校庭面積: 約4,100㎡</p>	 <p>延べ面積: 約8,800㎡ 校庭面積: 約3,950㎡</p>	 <p>延べ面積: 約8,550㎡ 校庭面積: 約4,200㎡</p>	 <p>延べ面積: 約8,700㎡ 校庭面積: 約4,200㎡</p>
<p>▲ 生徒用 ▲ 地域開放用 □ 校庭開放 □ 建築可能高12m ▲ 通用口 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 通用指導教室用</p>		<p>▲ 生徒用 ▲ 地域開放用 □ 校庭開放 □ 建築可能高12m ▲ 通用口 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 通用指導教室用</p>	<p>▲ 生徒用 ▲ 地域開放用 □ 校庭開放 □ 建築可能高12m ▲ 通用口 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 通用指導教室用</p>	<p>▲ 生徒用 ▲ 地域開放用 □ 校庭開放 □ 建築可能高12m ▲ 通用口 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 通用指導教室用</p>	<p>▲ 生徒用 ▲ 地域開放用 □ 校庭開放 □ 建築可能高12m ▲ 通用口 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 給食用 ▲ 通用指導教室用</p>
比較項目		改築基本方針該当校舎			
校舎環境	床面積	I, II, V	△	△	△
校舎環境	教室配置	I, II, III, V	○	△	△
校舎環境	窓先の環境、日照、採光	I, III, IV	○	○	△
校舎環境	通風	I, III, IV	○	○	○
校舎環境	動線・アクセス	V, VI	○	△	○
校庭環境	校庭配置、形状、広さ	I, III, VI, VII	○	△	○
校庭環境	日照	I, III	○	○	○
校庭環境	車道アクセス	I, III, V	○	○	○
校庭環境	日影	I, III	△	△	○
周辺環境	校庭の騒音・砂埃	IV	△	○	△
周辺環境	周辺への圧迫感	IV	○	○	△
周辺環境	地域利用諸室のまとまり	V	○	△	○
周辺環境	セキュリティ	V	○	○	○
周辺環境	防災面	VII	△	△	△
工事計画	工事中の既存施設利用	I, III	○	○	○
工事計画	仮設校舎	I, III	△	△	△
工事計画	工事中の校庭	I, III	○	△	○
工事期間			○	△	○
仮設校舎利用期間			△	△	△
新校舎供用開始時期			○	○	○

※上記は、第6回懇談会(令和7年9月29日開催)の資料です。

【4】施設整備計画(1)校舎配置(案)の検討②

懇談会での主な意見

	A案(西側校舎)	B案(北側校舎)	C案(東側校舎)	D案(南側校舎)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室の使い勝手が良い。 ・校庭の形が良い、広さを確保できる。 ・校庭が見える明るい普通教室 ・緊急車両が進入できる動線の確保 ・生徒が使用する門を複数確保できる。 ・デッドスペースが少ない。 ・校舎配置が従前に近く近隣の理解が得やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さざんかが別棟。分離出来て安心 ・緊急車両の進入経路を確保できる。 ・日影の影響が相対的に少ない。 ・体育館が最後まで利用できる。 ・校舎配置が従前に近く近隣の理解が得やすい。 ・適応指導教室が別棟になることは安心感につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎を一番早く利用できる ・適応指導教室が2フロア確保できる ・工事中に既存校舎が利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭が広くとれる
デメリット (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室のスペースが狭いため、広げて小中の教室が分離できるように ・幅広く地域でも利用できるように特別教室を1階に配置したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭が使いづらい。 ・生徒の動線(入口)が北門しかない。 ・校舎や校庭以外のスペースが広く勿体ない。 ・普通教室が分かれて配置される。 ・校庭が狭く検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室が道路側で普通教室からの景色がいまいち ・校庭が狭い、部活動に制限がかかる。 ・緊急車両が入りにくい ・普通教室が分かれて配置される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工期、仮設校舎の期間が長期 ・冬季に校庭が寒い。 ・緊急車両が通り抜けできない。 ・生徒の動線が南側に限られる。 ・適応指導教室が1フロアとなる。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主役である学校としてほしい。特に目標 I の達成を目指すものにしてほしい。 ・仮設校舎の期間が少なく、体育の授業も不都合ないものにしてほしい。 ・植栽を学校らしく生徒の心をなごませる季節感のあるものにしてほしい。 ・適応指導教室の入り口を完全に分けられるようにしてほしい。 ・学びのプラットフォームや子どもたちが集えるスペースの更なる検討をしてほしい。 			

【4】施設整備計画 (2)オープンハウスの開催

<開催概要>

天沼中学校の改築にあたり、懇談会委員以外にも保護者や地域にお住まいの方々など、幅広いご意見を伺うため、これまでの検討状況をまとめたパネル展示による「オープンハウス」を開催しました。

①令和7年10月18日(土)14時00分～16時00分 来場者数 57名

②令和7年10月20日(月)18時00分～20時00分 来場者数 21名 合計 延べ78名

※開催場所はいずれも天沼中学校1階昇降口

<オープンハウスでの主なご意見>

◆配置案について

校庭の広さと日照を確保できるA案を支持する意見が多くありました。B案は日当たりの良さと通学の利便性、C・D案は北側住民の日照改善に利点がありますが、校庭への日影や災害時の車両動線を課題として指摘する意見がありました。

◆さざんかステップアップ教室について

児童・生徒の心理的負担に配慮し、専用の出入口や動線の確保を求める声が多くありました。あわせて、農業体験や運動スペースの充実についても要望がありました。

◆校庭と防災について

砂塵対策としての人工芝の検討や、地域特性を踏まえた延焼遮断機能・避難所機能の強化を求める意見がありました。

◆工事期間中の教育環境について

校庭や体育館が使えない期間の代替施設の確保、特に部活動を継続できるように要望する意見がありました。

【4】施設整備計画 (3)天沼中学校生徒アンケート

天沼中学校の生徒が求める理想の学校像を幅広く把握し、新校舎の設計に反映させるため、生徒を対象としたアンケート調査を実施しました。本調査は、令和6年度に天沼中学校運営協議会が実施したアンケートを基に、令和7年度の1年生を対象として追加実施したものです。これらを通じた生徒の主な意見は以下のとおりです。

＜アンケート結果＞

分類	主なご意見
誰もが安心して過ごせる学校	・エレベータの設置 ・バリアフリー ・一人になれるスペース
生徒・先生と交流できる学校	・ふれあいの場 ・オープンスペース、テラス、サロンの整備 ・廊下や校庭のベンチ ・芝生の広場 ・放課後の教室開放
利便性の高い学校	・スムーズな移動ができる教室配置 ・広い更衣室 ・屋上利用(理科、体育、休み時間) ・自習室 ・様々な用途で使用できる室 ・図書館機能の充実 ・広い更衣室 ・大きくて仕切りのあるロッカー
安心・安全な学校	・防犯対策の強化 ・教室の施錠 ・教室廊下側に目隠しカーテン
地域に開かれた学校	・校庭、体育館、テニスコート、音楽室、自習室の開放 ・夏休み期間中のプール開放 ・天沼地域の図書館機能、図書室で自習 ・マルチルームや視聴覚室を地域の講座やイベントで活用 ・交流スペースの整備
明るく自然豊かな学校	・芝生の広場、屋上庭園、花壇の整備 ・光が入る教室配置(大きな窓) ・中庭
スポーツが盛んな学校	・人工芝の校庭 ・広い体育館、トレーニングルーム ・校庭の照明 ・屋内プール、庇の多いプール ・校庭のバスケットゴール
その他(既存校の改善点等)	・2学年が同時に利用できる更衣室 ・空調(冷房)設備の機能向上 ・改築中の協力者への還元(自由に入れる日の設定) ・全部を変えずに天沼中の良さを残す ・ロッカー以外にも鞆や物品を置けるスペースの確保

【4】施設整備計画 (4)校舎配置(案)の方針について

＜新校舎配置計画に関する区の所見＞

懇談会やオープンハウス等で皆様からいただいたご意見と、改築基本方針に掲げた3つのビジョンに照らし、各配置案(A案、B案、C案、D案)について総合的な評価を行いました。

① 教育環境の充実(ビジョン1)

A案は、学年単位のまとまりで教室を配置でき、多様な学習スタイルへの対応が容易です。また、すべての普通教室を「東向き」に配置できるため、近年の酷暑やICT機器利用に伴う遮光・遮熱対策としても有効であり、良好な学習環境を確保できます。B案も学年単位の教室配置は可能であるものの、普通教室が南向きとなるため、近年の酷暑に伴う室温上昇や、日照管理(遮光)に課題が残ります。C案は校舎幅の制約から柔軟な配置が困難です。また、D案は校庭を広く確保できますが、冬季は日影により降雪後の雪解けが遅れる等の課題があります。対してA案の校庭は、十分な広さと整った形状、良好な日照を両立しています。

② 周辺環境への配慮と安全・快適な学校づくり(ビジョン2)

A案の校舎配置は、従前の校舎配置に比較的近く、周辺環境への変化を少なく抑えられます。「さざんかステップアップ教室」については、一般生徒や学校開放利用者との動線を明確に分離しつつ、体育館や特別教室へ近接させるなど、教育環境としての利便性とプライバシーを両立しています。

③ 地域の学びのプラットフォーム・防災拠点(ビジョン3)

A案は地域開放エリアと生徒の活動エリアのゾーニングが明確であり、セキュリティ確保と学校運営の負担軽減を同時に実現できます。また、北・東・南の3方向からのアクセスを確保できるのはA案の大きな特徴です。日常の登下校だけでなく、緊急車両や将来のメンテナンス車両の動線においても、最も選択肢が広く有利な条件を備えています。



以上の比較検討の結果、**A案**が「改築基本方針」の具体化に最も合致すると評価しました。

【4】施設整備計画 (5) 平面計画 ②各階平面図



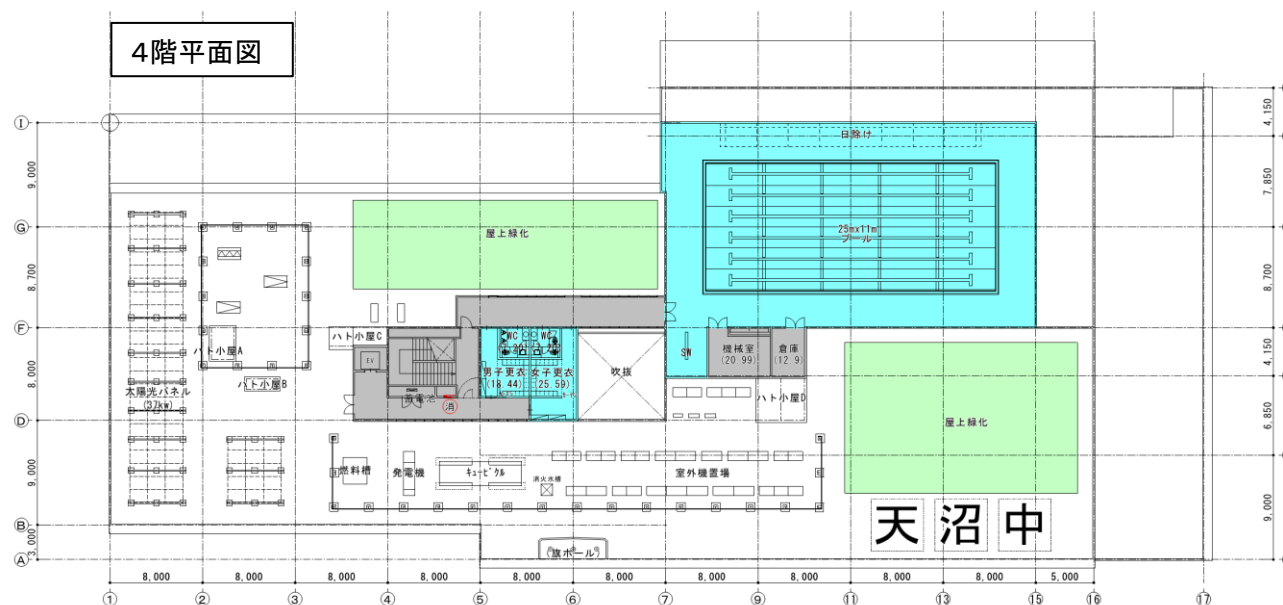
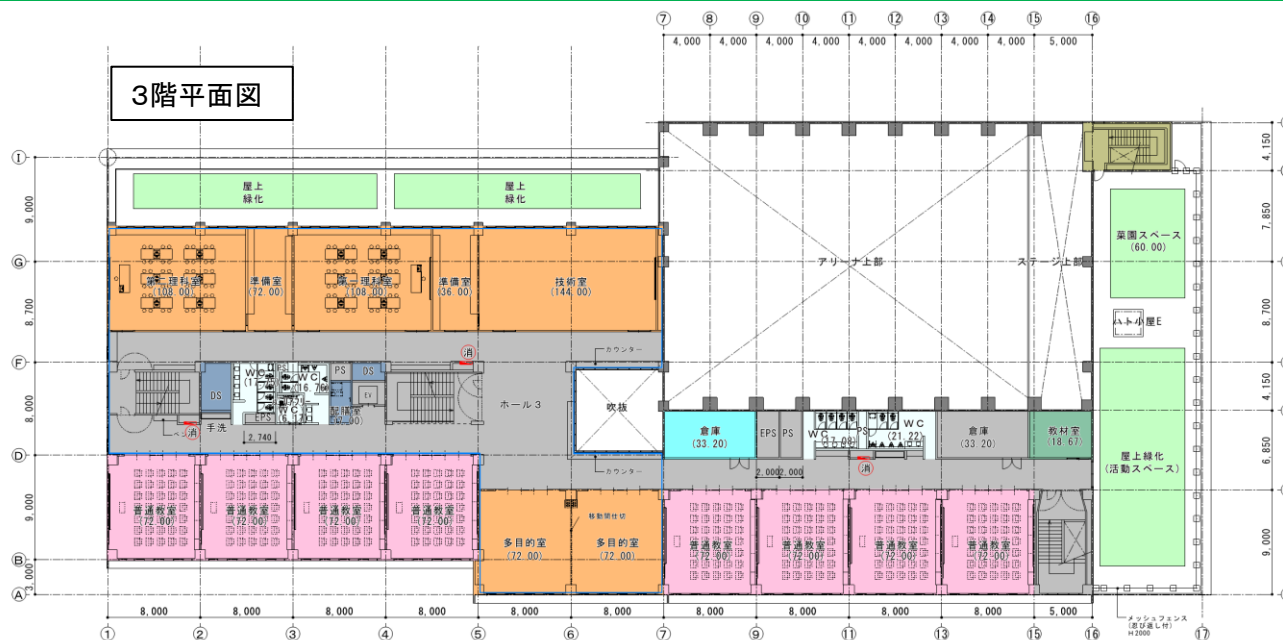
凡例

- : 普通教室
- : 特別教室
- : 体育館
- : 管理諸室
- : 学校開放
- : 特別支援教室
- : 給食調理場
- : プール
- : 便所
- : 廊下・その他
- : 適応指導教室
- : 一般開放エリア
- : セキュリティライン

今後の基本設計および実施設計の策定過程において、諸条件の精査や関係機関との調整により、部屋の配置や細部の仕様に修正が生じる可能性があります。



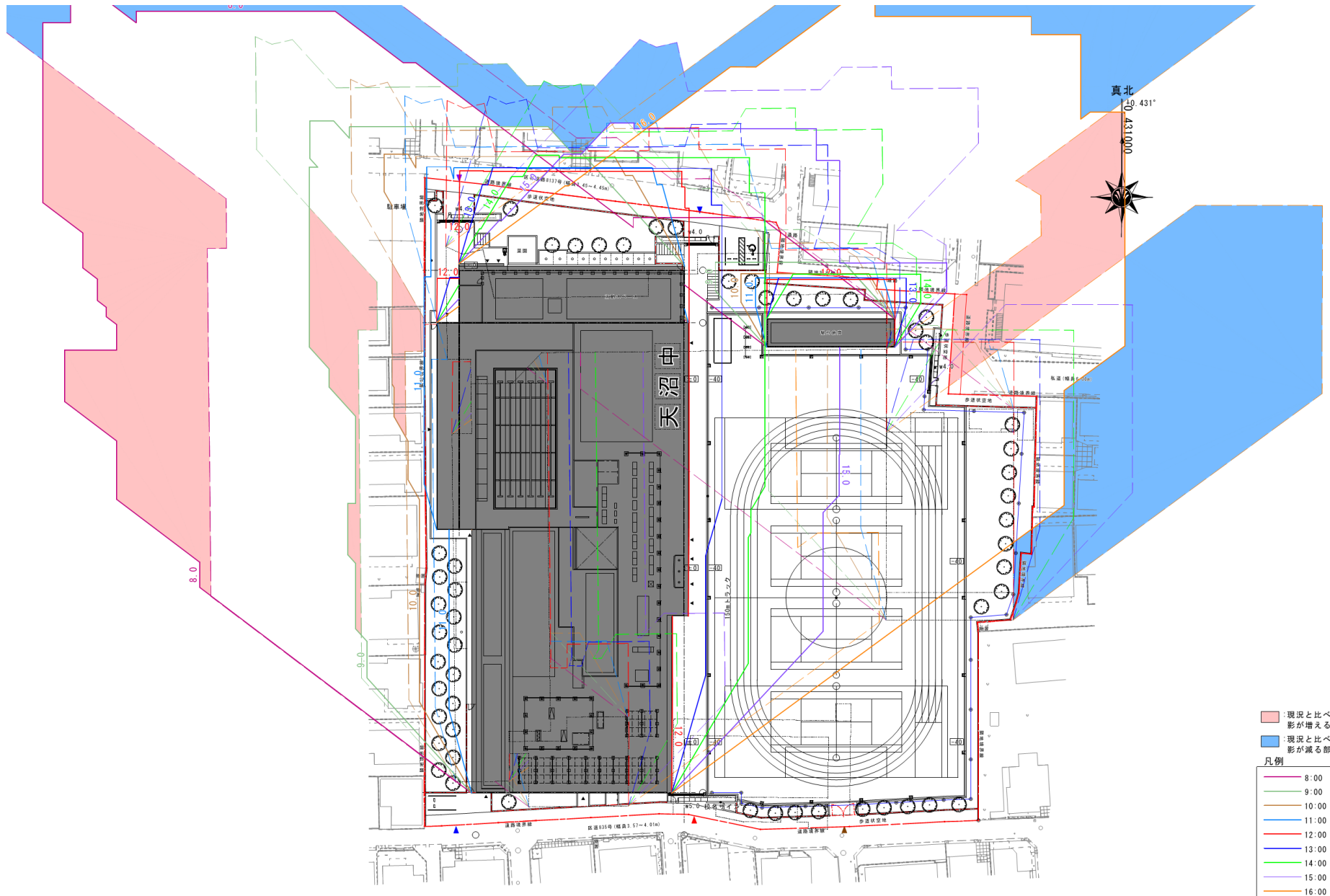
【4】施設整備計画 (5) 平面計画 ②各階平面図



今後の基本設計および実施設計の策定過程において、諸条件の精査や関係機関との調整により、部屋の配置や細部の仕様に修正が生じる可能性があります。

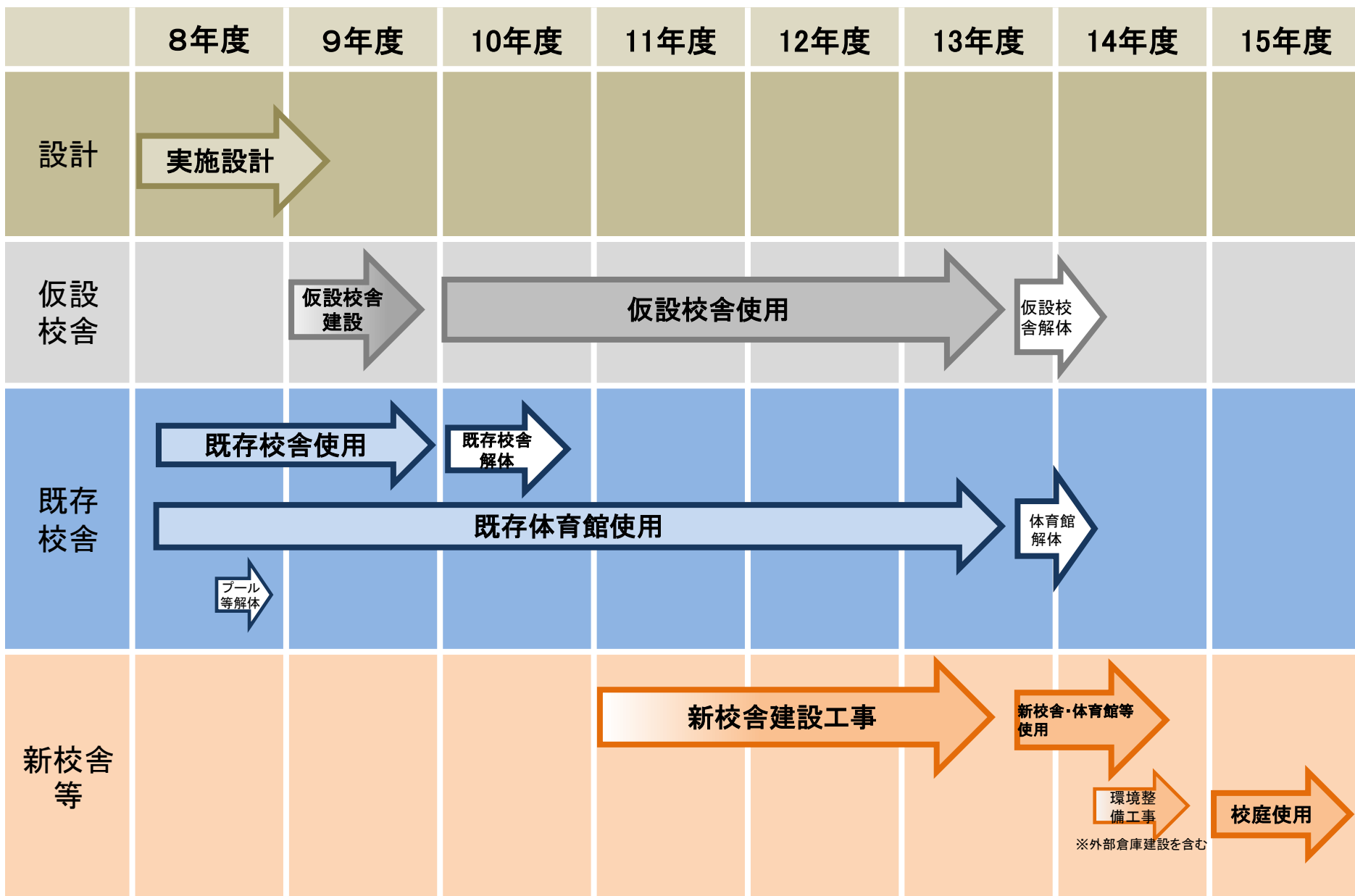


【4】施設整備計画 (6) 日影図



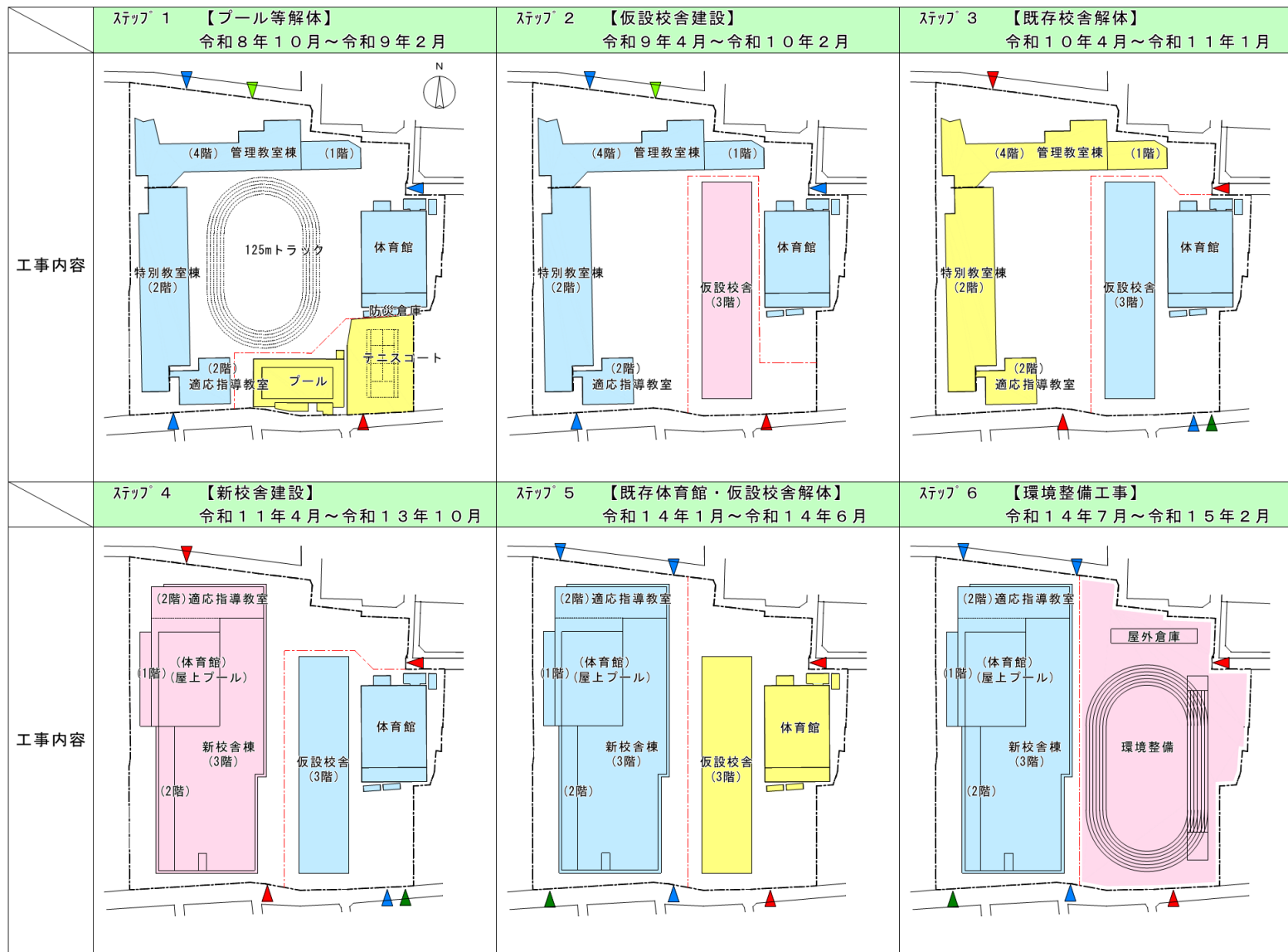
※冬至日・測定高さ0m

【4】施設整備計画 (7) 想定整備スケジュール(予定)



※スケジュールは今後変わる可能性があります。

【4】施設整備計画 (8) 工事ステップ図(予定)



【5】検討経過 (1)校舎改築検討懇談会での検討経過等

	日時	会場	主な内容
第1回	令和7年4月21日(月)10時00分～12時00分	天沼中学校 視聴覚室	○天沼中学校の特色について ○改築の概要について ○さざんかステップアップ教室について
第2回	令和7年5月19日(月)13時30分～17時00分	—	○施設見学(杉並区立杉並第二小学校、杉並区立松溪中学校)
第3回	令和7年6月16日(月)14時00分～16時00分	天沼中学校 視聴覚室	○さざんかステップアップ教室併設について ○改築基本方針について ○改築規模及び諸元について
第4回	令和7年7月31日(木)10時00分～12時00分	同上	○計画地の概要について ○防災機能強化について ○改築基本方針について ※ワークショップ(グループワーク)を実施
第5回	令和7年9月2日(火)14時00分～16時00分	同上	○改築基本方針について ○新校舎の配置計画案について ※ワークショップ(グループワーク)を実施
第6回	令和7年9月29日(月)10時00分～12時00分	同上	○改築基本方針について ○配置計画及び平面計画について ※ワークショップ(グループワーク)を実施
第7回	令和7年11月12日(水)10時00分～12時00分	同上	○配置計画及び平面計画について ※ワークショップ(グループワーク)を実施
第8回	令和7年12月15日(月)14時00分～16時00分	同上	○平面計画について ※ワークショップ(グループワーク)を実施
第9回	令和8年1月27日(火)14時00分～16時00分	同上	○平面計画について ○改築基本設計まとめについて
第10回	令和8年3月5日(木)14時00分～16時00分	同上	○改築基本設計まとめについて

校舎改築検討懇談会委員(順不同・敬称略) 23名

団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名
明星大学教育学部 教育学科教授	今野 貴之	天沼中学校PTA	門倉 江里子	天沼中学校運営協議会	茂木 愛一郎	さざんかステップアップ 教室 保護者	森田 佐和
東京都立大学 都市環境学部 建築学科 助教	讃岐 亮	天沼中学校PTA	野沢 千鶴 ※令和7年8月まで	天沼中学校学校支援本部	根岸 留里	天沼小学校校長	薩摩 博之
本天沼西町会	近藤 秋子	天沼中学校PTA	山口 直美 ※令和7年9月から	日本災害食学会理事	守 真弓	沓掛小学校校長	浅見 優子
天沼尚和会	田中 孝	天沼小学校PTA	宮内 満里子	天沼中学校区地域教育推進協 議会会長	田中 一恵	天沼中学校校長	池田 和幸
天沼二丁目三よし会	土屋 光久	沓掛小学校PTA	戸崎 聖子	天沼地区主任児童委員	石田 幸代	天沼中学校副校長	黒澤 直兄
清和会	二見 清	天沼中学校運営協議会	生重 幸恵	さざんかステップアップ教室 元室長	矢澤 久美子		

【6】今後の検討課題等

●実施設計にあたって

「改築基本設計まとめ」の内容を尊重するとともに、教職員へのヒアリング等を通じて、意見を可能な限り実施設計に反映させていきます。

●工事期間中の教育環境の確保

長期にわたる工事期間中も、仮設校舎や代替運動場の確保など教育環境の質を可能な限り維持するよう取り組みます。

●校庭の砂埃対策と校庭舗装の研究

懇談会や生徒アンケート、オープンハウス等で砂埃を心配する声や人工芝を求める意見もあった。そのため様々な舗装材について、費用対効果、授業や部活動への影響、自然環境への影響等を多角的に研究し、引き続き幅広く検討を進めてまいります。

●地域・関係者への説明会開催等

近隣住民の皆様の生活環境へ適切に配慮するため、工事着手前に条例に基づく説明会を開催し、皆様のご意見を丁寧にお伺いしてまいります。また、「改築ニュース」の配布等を通じて、近隣住民の皆様や学校関係者へのタイムリーな情報提供に努めてまいります。

●効率的な設計によるコスト縮減

中学校の標準建物面積を念頭に、効率的な設計によって建設コストの抑制に努めてまいります。